

日本の名城100選『七尾城山展』開催

11月3日（金）に『七尾城山展』がフォーマル七尾で開催されました。

日本城郭団体から日本百名城の一つに選ばれ、七尾城跡の素晴らしさを『七尾城山祭』に托した寺西憲一氏の存在を知ってから「七尾城山を愛する会」として準備を進めてきました。

来場者300人あまり、アンケート回答も92人と盛大に開催されました。来場者の中には、一日だけではもったいないとの声もあり、愛する会としての今後の活動に對しさまざまな示唆を受けましたことに感謝いたします。

七尾城山展アンケートから

- *このような展示会を1日だけでなく継続してほしい。
- *七尾城まつりのことがよく分かりました。
- *七尾城をもっとPRして名所案内のコース設定をしたらどうか。
- *懐かしい写真や貴重な資料を見せていただいた。
- *近くのことなのに知らないこともいっぱいありました。

大谷川道から

いくつもある城山への山道の一つとしての『大谷川道』を多くの方に紹介しようと考えています。

『九尺石』の下から準備を始めるつもりです。二の丸の下には4段の石垣があり、その一番下の石垣が本来の道と関係があるだろうと考えています。その理由の一つは『温井屋敷』には石垣がありませんが『九尺石』と『温井屋敷』の下にはたくさんの石が転がっています。その石の多さからこの『九尺石』の下の谷を横断する石垣を使った道があったのではないかと考えられます。また、この谷には石垣や崩れ落ちた石が多く、かなり広い屋敷跡も残っています。それらのことからかなり重要な道だったのではないかと考えています。

今もはっきり残っている『大谷川道』はもう一本あり、これが本丸からの最短距離の道だと思います。

長丸殿周辺を歩いてみて

ずっと気になっているのは『関東橋』の位置です。先日の『七尾城山展』で見た地図から本丸の後方部にあったのではないかと思います、長丸殿の下部から展望台下の駐車場まで（飯田さんの山荘あたり）の尾根を歩き回った。

そこで『空堀り』と石垣や下の平地の関係が『本丸』と『長丸殿』でよく似ている。もしかして沢を攻めてきた敵軍が長丸殿を本丸と錯覚してしまったりしたのではないかと想像しました。また、自然薯を掘った最近の穴もありました。